

西学園だより

雲南市立認定こども園西こども園

雲南市立西小学校

【文責 表面 梅木 裏面 小田】

6月下旬から7月にかけての猛暑、そしてこのところの新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大と、なかなか落ち着かない1学期末。予定していた7月の授業公開日も中止せざるをえず、児童の成長した姿や学校での生き生きとした姿が見てもらえず、本当に残念でした。コロナ禍で制限された生活の中でも、児童はたくましく成長しました。保護者の皆様、地域の皆様には、多くの面で支えていただき、児童が安心して学ぶ環境を整えていただきました。ありがとうございました。

1学期の子どもの成長

1年生教室の外に置いてある朝顔に赤や青のかわいい花が咲き始めました。朝、1年生教室をのぞくと、自分が育てた朝顔のことを自慢げに話してくれます。5月の中旬に種まきをして以来、毎朝、朝顔をのぞき込んだり、たっぷり水やりをしたりしました。親しみと期待をもって朝顔の世話をすることで、生き物を大切に作る心を育んだ1年生でした。その姿には、うれしさを感じました。



きれいな花が咲いたね

- <2年生>学校一番の元気良さだけでなく、廊下の本棚の整頓をしたり、教室のゴミ拾いを進んでしたりと、みんなのことを意識できるようになりました。
- <3年生>タブレット学習が始まったとき、学級みんなで休み時間も返上してタイピング練習に熱心に取り組みました。集中力がぐ〜んとアップです。
- <4年生>毎朝元気の良い挨拶ができる学年です。ロングの昼休みには学級みんなで鬼ごっこなどの遊びをするなど、仲の良さを深めました。一度、参加しましたが、足の速さと俊敏な動きに感心しました。
- <5年生>元気が良かった中学年から高学年になり、落ち着きを身に付けました。朝の活動や学習中には、真剣な表情で集中して取り組んでいます。その姿に成長を感じています。
- <6年生>最高学年になりリーダーとしての自覚を高めました。登校班でのあいさつは、手本となる挨拶を先頭に立ててできました。教室のロッカーのランドセルはいつもピシッと整頓され、気持ちいいです。
- <くにこにこ・わくわく・すくすく学級>いつも笑顔でいきいきと学習や活動に取り組みました。野菜の栽培に熱心に取り組み、たくさん収穫できました。おすそ分けのイチゴの甘さは格別でした。

四輝（しき）、志（ふみ）・・・思いを込めて愛称を考えました



堂々と発表できました

4月13日に孵化が確認されたコウノトリの4羽のひなは、毎日ぐんぐん大きくなり、今は、昼間は巣塔から離れ学校周辺の田んぼに出向き、夕方になると帰ってくるという生活をしています。今年も元気に育ったコウノトリのひな4羽のうち2羽の愛称を西小学校の児童が考えました。児童が考えた愛称は、「四輝」と「志（ふみ）」。それぞれの名前には、次の意味が込められています。

「四輝」…4羽のひなに輝いてほしいから。星のようにキラキラしてほしいから。4羽のひながいろいろなところに飛び立ってほしいから。

「志」…志という漢字には、こころざしやある目標に向かう気持ち、記憶する、相手を思う気持ちという意味がある。前向きな言葉しかないのがすごいと思った。ひなにもこの字の意味のように西小のことを記憶してほしいと思ったから。

志に「ふみ」という読みがあることは、児童に教えられて初めて知りました。その読みには、児童の強い思いが感じられます。西小で生まれたひなであり、自分たちが名付けたひな。コウノトリは、今の6年生が1年生の時から6年連続してかかわってきた存在です。児童は特別な読みを敢えて選んだようでした。